

演奏会批評<ショパン/2011年2月号より抜粋/道下京子氏(音楽評論家)>

彼女は音が宿すエネルギーを引き出すべく、流れるような旋律を実現した。

緩急自在に非常に繊細な息遣いでメロディーを扱い、歌を感じさせる。

鮫島の奏でるメロディーは聴き手の心にじわりと染み入ってくる。24の前奏曲ではベーゼンドルファーの音質を活かして、しっとりとした柔らかな響きで心ゆくまで音楽を歌い上げ、大きな呼吸によって作品に生の息吹を注ぎ込み、音に生命の輝きを与えた。感傷に耽ることなく、真摯に作品と対峙する姿勢は好感が持てる。

(プネウマシリーズ/ショパン2010年12月 横浜みなとみらいホール)

AKIKO SAMEJIMA

AKIKO SAMEJIMA RECITAL 2012

鮫島 明子

桐朋学園大学卒業後、渡仏。

1986年、パリ・エコール・ノルマル音楽院演奏家資格試験に首席で合格、同時に審査員全員一致で最優秀賞受賞。

1987年、同音楽院コンサートイスト資格試験に合格。

1989年、サン・ノン・ラ・ブルティッシュ国際コンクールで2位、同時に課題曲最優秀演奏賞受賞。

ピアノを松岡貞子、辛島仔緒子、V.ペルルミュテル、F.クリダ、J.F.エッセール、室内楽を三善晃、山根美代子、S.ユレル、S.コロアの各氏に師事。

パリを中心にフランス国内でリサイタル、室内楽、ラジオ録音、スコラカントルム音楽学校の声楽科伴奏員等、幅広く活動する。

1989年秋に帰国後は、内外の演奏家との共演、リサイタル、NHK-



© 林喜代種

Akiko Samejima

FM放送に出演。韓国・マレーシアでの演奏会、日本文化人訪中団の一員として中国を訪問。草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルでは毎年アシスタントピアニストを務める。病院や福祉施設、学校での演奏会も活発に行い、地元横浜では、2001年から年2回、地域に根ざした「アフタヌーンふれあいコン

サート」を開催。ソロと室内楽、トークを織り交ぜた内容で企画・制作・出演と手掛ける。2006年、「雲外蒼天」と題してショパンのスケルツォ&バラード全曲リサイタルを、2008年からはプネウマシリーズとしてテーマ性を持ったリサイタルを開催、「ベートーヴェン三大ソナタ」「ショパンエチュード全曲」「ショパン24のプレリュード」など好評を博す。また、後進の指導では個々の身体技法・感覚・思考の繋がりを追求したトータルなレッスンを展開する。

チケット申込み書

希望枚数

枚

FAXもしくはメールにてお申込みをお願いいたします。
03-5428-0572 (FAX) /info@duojapan.com 宛

メールでお申込みの場合は、必ずお名前・ご住所・希望枚数・ご連絡先を明記の上、ご送信ください。

ご住所 〒

ふりがな

お名前

※必ずふりがなをご記入ください。

TEL

FAX

メールアドレス

※受領後、確認のご連絡を致します。